

令和4年7月19日(火)

## 國學院大學との「相互連携及び協力に関する基本協定」を締結

鳥羽市は國學院大學（東京都渋谷区）との「相互連携及び協力に関する基本協定」を締結しました。



この協定は、鳥羽市の観光まちづくりに関する知識や経験などと、國學院大學が保有する知的財産や人材、技能などを活かし、観光まちづくりの分野で連携、協力していくものです。今回の協定を契機に市と大学が包括的に連携し、地域活性化や地域経済・産業の振興、観光まちづくりを通じた市民生活の向上や教育・研究の推進、地域社会の発展、人材育成などに取り組んでいきます。

締結式で國學院大學の針本正行学長は「4月から観光まちづくり学部という新たな学部を創設しており、「地域を見つめ、地域を動かす」をモットーに、地域の個性を見つけ、磨き、地域から学び、地域を活かす未来につながるまちづくりを目指したい。また、人とのつながりが大切と考えており、鳥羽市のさまざまなかたともつながりながら、一緒に地域づくり、人材づくりに取り組むことで、鳥羽市の課題解決にもつながれば」と語ってくれました。

中村市長は「当市は、観光地としてはもちろん、良いものもそうでないものも、さまざまな特徴を有しており、研究対象として多くの題材を提供できるのではないかと。この協定を契機に相互に協力し、地域を動かしていけるような多彩な人材育成に取り組み、良い関係を築いていければ」と期待を寄せました。